

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」 100回記念号

第100回 『十年間を振り返って・・・』

こころの相談員 小林 節子

私が朝日町の「心の相談員」となって十年がたちました。実に数え切れないほどのたくさんの方々との出会いがありました。その場で相手の方の話を傾聴、受容し、アドバイスさせていただいた相談内容がほとんどですが、中には何度も面談を重ねたり、深刻な問題を抱えた親子のことが心配で、私自身が眠れぬ夜を過ごしたことも何度もありました。

子育ては決してマニュアルどおりにはいきません。たとえば「赤ちゃんに与える初乳は、免疫力をつけるために重要である。なるべく母乳で育てるべきである」というのが専門家の間で一致している意見であるとしても、事情があって母乳で育てられないお母さんもいます。ミルクでの授乳であっても、赤ちゃんを優しく抱いて、目を見、話しかけて、赤ちゃんにしっかりと愛情を伝えることは出来ます。一方、母乳を与えながら、いつも母親がテレビやスマホに夢中になっていたらどうでしょうか。体だけでなく、心も育てるのが子育ての基本ですよ。

お母さんたちの悩みには、自分の理想の子ども像と現実の子どもとのギャップや、自分と子どもとは異なる人格であることが受け入れられないことから生まれるものもあるようです。自分の子どもにいろいろ期待したり、夢を託すのは当然かもしれませんが、しかし、子どもは親の思いどおりにはならない存在ですし、親の言うことをきくいい子だと安心していたら、思春期になって色々な問題行動が顕れる場合もあります。

基本的に親が子どもにしてやれることは、自尊心(自己肯定感)を育てることに尽きるのではないかと思います。親の無条件の愛情に支えられて「自分も他者も愛することのできる」という、人としての基本が備わっていれば、長い人生で苦しい出来事に遭遇しても、逆境に打ち勝って自分らしく生きていけるのではないのでしょうか。

子どもの成長につれて親の悩みも変化してゆきますが、悩みながら親としての判断に迷ったときに、「親のエゴや期待を子どもに押し付けていないだろうか、子どもの気持ちをちゃんと聴いてやっているだろうか、子どものあるがままを受け入れているだろうか」という視点を踏まえて子どもと向き合えば、おのずと道は開かれるような気がします。

子育ては、時に忍耐や受容の必要な困難さを伴うものですが、その困難さの中に、大きな喜びと幸せがありますように心からお祈りします。あなたにとって、またこの世界にとって、あなたの子どもは、かけがえない命であり存在なのですから。

※小林相談員は、あさひ園・子育て支援センターなどで相談活動を行っています

あさひライブラリーからのお知らせ

こんにちは！あさひライブラリーです。

新しい生活、新しい環境、新しい人間関係…4月は少し前向きになってみようと思える季節ではないでしょうか。

図書館では、何か楽しいことを始めよう！〇〇にチャレンジしてみたい！など、暮らしや学習に役立つ本はもちろん、新聞(8誌)・雑誌(趣味・ファッション・料理・健康・育児など約60誌)がご利用いただけます。

どうぞ暮らしの中で図書館をお役立てください。

有料広告掲載欄



かけ流し天然温泉と
美味しい食事、
疲れたときや
お友達とのんびり
したいときなど…

桑名市福岡町471-1
☎0594-21-5170
伊勢湾岸道「湾岸桑名IC」下りすぐ

ホームページを新設しました! ⇨ <http://www.satonoyu.co.jp/kuwana.html>